

中東呼吸器症候群（MERS）の 感染予防と健康相談について

1. 中東呼吸器症候群（MERS）について

呼吸器症候群（MERS：Middle East Respiratory Syndrome）は、2012年に初めて確認されたウイルス感染症で、主として中東地域で患者が発生しています。

主な症状は、発熱、せき、息切れなどです。下痢などの消化器症状を伴う場合もあります。

2. 感染予防について

現在のところ、MERSの発生は中東地域や韓国及びその渡航者に限られているため、日本国内における感染を過剰に心配する必要はありませんが、国内における患者発生や、患者発生地域へ旅行する場合などに備え、今から感染症予防の習慣を身につけておくことが大切です。

MERSがどのように人に感染するかは、まだ正確には分かっていませんが、呼吸器症状を主とする感染症に対しては、一般に次の対策が有効です。

呼吸器感染症の一般的な予防方法

<自分が感染しないための方法>

- 咳や発熱等のある人にむやみに近づかない
- マスクを着用する
- 手洗い、うがいをする

<他人に感染させないための方法>

- 咳エチケットに心がける
- 咳や熱があるときはマスクを着用する

3. MERSに関する健康相談

中東地域への旅行から帰国後、咳・発熱などの症状が出たなど、MERSに関する健康相談については、最寄りの保健所にご連絡ください。

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループのホームページに、上記の内容について掲載しています。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/mers33.htm>